

永久アンカー工法 特徴や手順を説明

VSL協会が講習会

VSL協会（田中茂義会長）は7日、札幌市中央区のTKPガーデンシティP



REM IUM札幌大通でVSL永久アンカー工法の技術講習会を開いた。写真。約40人が参加しVSL永久アンカー工法の特徴や施工手順などについて理解を深めた。

冒頭あいさつした黒澤亘理事代行は「VSL工法はスイスのロージンガー社からわが国に導入され、道内でも高速道路や発電所など多数の実績がある。講習でVSL永久アンカーの特徴などを理解してほしい」と述べた。

講習会では同協会アンカー部会の里村宗利技術員がVSL永久アンカー工法の特徴を説明した。また一般社団法人On-Site Visualization研究会代表理事の芥川真一神戸大学名誉教授が「情報を現場で見える化するOn-Site Visualizationの技術とその展望」と題して講演した。会場には新たに開発した「高性能維持管理アンカーシステム」の実物を展示した。

